

これは広告です

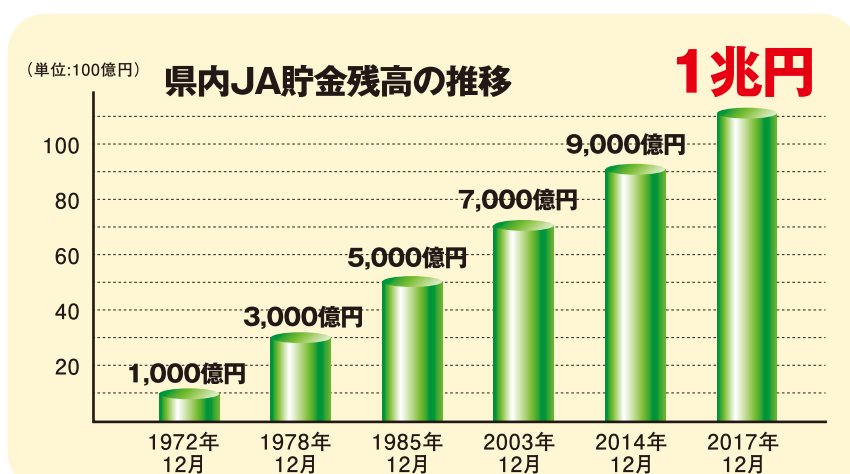
県内JA貯金残高1兆円達成に感謝。

- 農業と地域の絆を紡ぎ、70年 -

信用と信頼に応え
より一層のサービスを。

JAバンク佐賀は2017年12月末の貯金残高が1兆円を達成しました。九州で貯金残高が1兆円を超えているのは福岡県、鹿児島県、熊本県に続き4県目。県内でも大きなシェアを獲得することができ、農業協同組合の誕生からおよそ70年をかけて大きな節目を迎えることとなりました。

JAバンク佐賀は平成27年より「農業



今まで以上の満足を皆さまへ



経営管理委員会会長
金原 壽秀



代表理事理事長
堤 秀幸

日頃からJAバンク佐賀をご愛顧いただきありがとうございます。

この度、県内の大台達成ができましたことは、組合員をはじめ地域の皆さまのご支援の賜物であり、改めて感謝を申し上げますとともに、JA役職員の自信と誇りになるものと考えます。また、このことは組合員をはじめ地域の皆さまからいただいた信頼と期待の表れで

者の所得増大、「農業生産の拡大」、「地域活性化への貢献を目標に掲げ、JA自己改革の完遂に向け全力を尽くしています。少子高齢化や人口減少が進み競争環境が厳しさを増す中、「選ばれ・頼られる金融機関」を目指し、県内JA貯金1兆円必達運動を展開。「サックス定期」のほか、佐賀県産農産物消費拡大を目的とした「佐賀農業まるごと応援貯金」を発売し、個人貯金と呼び込んだほか、公金や法人貯金でも積極的な獲得に努めました。

JAバンク佐賀の役職員は「達成した1兆円という資金は、組合員と地域の皆さまの信用と信頼の証である」として「喜び」と「感謝」を感じるとともに、より一層の「責任」と「覚悟」を持って、金融機関としてのサービスの充実と地域貢献に力を注ぐことを決意しました。この取り組みの第一歩として、子供たちの健康と強靱な体づくりのため、今年、佐賀県(こども家庭課)を通して新米「百俵」の贈呈を予定しています。

県内貯金残高が1兆円を達成できたことで、利用者の皆さまには「貯金」や「住宅ローン」、「年金受給」などにより充実したサービスを期待いただけます。今まで以上に「JAバンク佐賀」ブランドが県民の皆さまに浸透することを願うとともにJAバンク佐賀では今後、JAの総合力を発揮しながら、農業メイ

もあります。

私どもは、農業専門金融機関として農業の発展と農家経済の向上を図るとともに、地域金融機関として地域社会・地域経済の繁栄に貢献すべく役職員一丸となつて取り組んでおります。

農業を取り巻く環境は、農業者の減少・高齢化の問題や米価をはじめ農畜産物の価格低迷などによる農業所得の減少が懸念されるなか、農協改革によるJAグループに対する農業所得増大寄与への期待が大きく寄せられております。

また、今日の金融機関を取り巻く環境については、日銀の「マイナス金利政策」

ンバンクとして、また地域のメインバンクとして、皆さまの「お役に立てる金融機関」を目指します。

／おかげさまで／
全国JA貯金残高は
100兆円を
達成しました。

2017年6月末、全国JAの貯金残高が100兆円を達成しました。全国JA貯金は農業基本法が公布・施行された1961年に1兆円を超え、89年に50兆円に到達。全国のJAバンクは今後も農業をはじめ利用者の相続や資産運用・形成など様々なニーズに対応していきます。

トピックス
「ユニフォーム」で
気持ちを引き締め



JAバンク佐賀では昨年12月、JAバンクイメージキャラクター「ちょリス」のユニフォームを作成。全店舗の金融窓口担当者が着用し、佐賀県JA貯金1兆円の達成を目指し一丸となって窓口セールスや街頭PR活動を展開しました。

により、長期・短期金利が低位で推移するなど厳しい運用環境となっており、より一層の運用力強化が求められております。

このたび、組合員や地域の皆さまからお預かりした大切なJA貯金1兆円を原資に、金融仲介機能の十分な発揮に向け、農業融資をはじめとするさまざまな資金ニーズに対応しながら、地域の皆さまのお役に立てるよう、精進してまいります。

最後になりますが、JAバンク佐賀は今後も地域の皆さまに必要とされ、頼りにされる金融機関となるようJAの総合力を発揮し全力で取り組んでまいりますので、旧に倍してご支援ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

豊かな未来を、
地域の皆さまと共に。



JAバンクイメージキャラクター「ちょリス」



「サックスの森」植樹活動

農業に不可欠な水と大地を守り、豊かな暮らしと地域の発展につなげるために、平成27年より佐賀市富士町の山林で植樹活動をしています。自然への恩返しと未来に美しい森林を残すため、県内4JA職員が定期的に除草作業や周辺での清掃を続けています。



ふれあい農業体験

日頃の感謝と農業により親しんでもらうことを目的に、地域の皆さまに田植えや稲刈りや味噌づくりを体験していただきました。このほか「イチゴ狩り体験」や「いも掘り収穫祭」、「園児との餅つき大会」などを開催し、地域の皆さまとの交流を大切にしています。



「学童オリンピック」への協賛

佐賀県内のスポーツ文化の発展・向上と、児童や青少年の健全な心と体の育成を願い「JA杯佐賀新聞学童オリンピック」大会への特別協賛を続けています。JAバンク佐賀は将来、地域の未来を担う子供たちの健やかな成長を全力で応援しています。

今伝えたい、感謝の 気持ちと未来への誓い。

おかげさまでJAバンク佐賀は県内JA貯金残高が1兆円を達成しました。農業が誕生して70年。農業に関わる人だけでなく、地域の皆さまに支えられて一つの節目を迎えることができました。農業を元気にすること。それは同時に地域とそこに住む人を元気にすること。私たちはそう考えます。農地の活用、新しい担い手の育成、JA佐賀を元気にするためにできる事はすべてやる。私たちはこれからも農業と地域の未来をつくる活動を続けます。佐賀に住むすべての人の幸せを見つめて。



年金友の会 カラオケ大会

JAの基本理念である「ふれあい」と「助け合い」をモットーに、毎年「JA年金友の会佐賀県大会」を開催しています。長きにわたり農業や地域の発展にご活躍された方々に明るく豊かな人生をおくって頂くため健康増進や親睦のお手伝いをしています。



JAバンク食農教育応援事業

子供たちの「食」への関心を高め、食を支える「農業」の役割を伝えるため、地域の皆さまと連携して食農教育に取り組んでいます。その一環として平成20年度より食農教育用の補助教材本を県内の全小学校や図書館に継続的に贈呈しています。

JAバンク佐賀

JAさが・JA佐賀市中央・JAからつ・JA伊万里・JA佐賀信連